営農情報 第3号

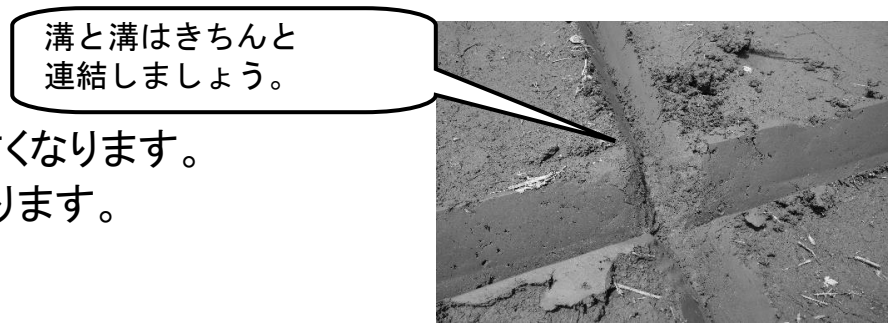
令和５年ＪＡ冬期懇談会資料をご活用ください（参照ページは各項目に記載）。

令　和　５　年　５　月　２４　日
アルプス農協管内農業技術者協議会

1 溝掘りの確実な実施

参照ページ:p59

中干しを田植後4週間までに開始するため、**溝掘りは田植後３週間頃を目安**に必ず実施しましょう！



《溝掘りの効果》

○圃場への入・排水が短時間で均一に行え、水管理がしやすくなります。
○圃場全体が同じように乾き、秋の収穫作業が行いやすくなります。

《溝掘りのポイント》

○溝を掘る2～3日前に落水し、土がやや硬くなった状態（土壌表面が乾く程度）にしましょう。
○溝掘り作業直前に、ヒタヒタ水程度まで再度入水してから掘りましょう（作業後は落水してください）。
○設置の目安は5m（15 条）に1本程度とし、特に圃場の周囲と中央の1本はしっかり掘りましょう。
○水がいつも溜まっているところや乾きにくいところは、溝を多く掘りましょう。
○溝は、深く掘り下げた水尻と確実に連結してください。
○溝が埋まった場合は再度掘り直しましょう。

2 中干しの実施

参照ページ:p60

適期に中干しを行うことで、以下の様々な効果が得られます。

《中干しの効果》

①発根の促進、稲体の健全化　②土壌内の有害ガスの除去　③過剰分げつの発生抑制
④適正な葉色への誘導　⑤収穫時の機械作業がスムーズに行える地耐力の確保

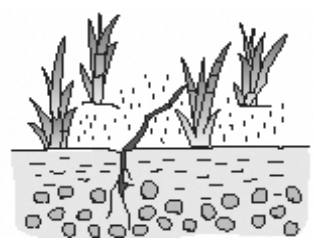
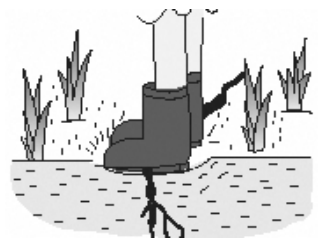
《中干し開始の時期と方法》

○田植後 4 週間までに開始しましょう。
本格的な梅雨に入ると、十分に中干しができないので、遅れないようにしましょう。

中干しは一発で仕上げとせず、その後の間断かん水と併せて、幼穂形成期頃までに圃場中央部で足跡深さが3cm 程度の硬さとなるようにしましょう。

適切な中干し後の状態

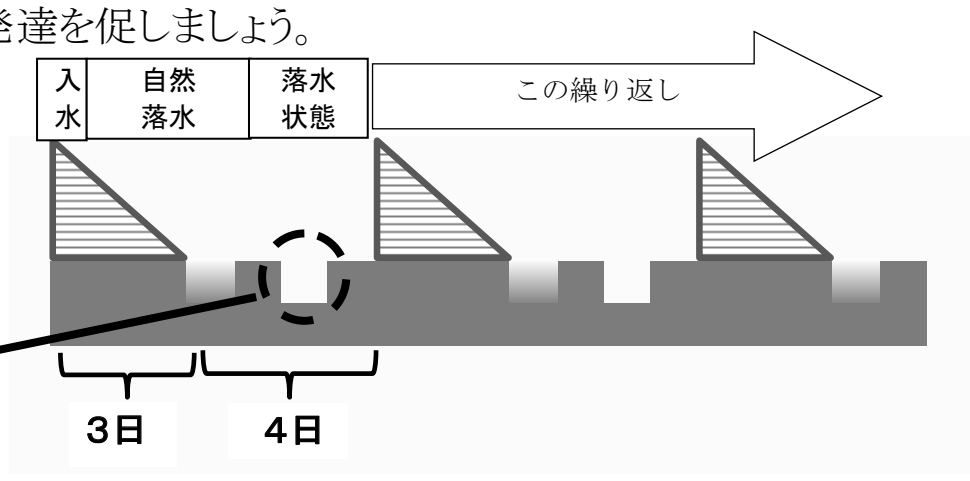
【圃場条件別の「中干し」の目安】

	乾きやすい圃場 （砂質田・黒ボク等）	乾きにくい圃場 （半湿田・粘質田）
方法	３日間程度で弱めに干す	５～７日間程度で強めに干す
仕上げ程度	 ・小さなヒビが入る程度	 ・足が少し沈む程度

3 中干し後の水管理

参照ページ:p61

○中干し後から幼穂形成期までは「間断かん水」をしましょう。
根は幼穂形成期まで急速に増えます。幼穂形成期まで湛水と落水を繰り返す「間断かん水」で、土壌に酸素と水を供給して根の発達を促しましょう。



足跡の水がなくなったら入水

【間断かん水の方法】
乾きやすい圃場：入水→自然落水→2～3日落水
乾きにくい圃場：入水→自然落水→4～5日落水

4 移植水稲の中・後期除草剤 参照ページ:p58 ～使用基準を厳守しましょう！～

○雑草の種類や発生状況を確認し、遅れず適期に散布しましょう。
○湛水散布する前に水の入れ替えを行いましょう。
散布後5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水しないで下さい。
※バサグラン粒剤、ロイヤント乳剤、トドメバスＭＦ液剤は落水またはごく浅く湛水して散布する。

除草剤名	対象雑草	10a当たり使用量	使用時期	使用回数	使用上の注意点
ワイドショット 1キロ粒剤	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ　他	1kg	移植後 15 日～ ノビエ4葉期まで （収穫45日前まで）	1回	・イネ4葉期以前の使用は避ける。 ・散布後に多量の降雨が予想される場合は使用を避ける。
テッケン 1キロ粒剤	一年生雑草および 多年生広葉雑草	1kg	移植後15日～ ノビエ4葉期まで （収穫60日前まで）	1回	・散布後に多量の降雨が予想される場合は使用を避ける。 ・効果を高めるため、5cm程度の湛水状態で散布する。
テッケン ジャンボ	一年生雑草および 多年生広葉雑草	小包装 （50g）× 10個 （500g）	移植後15日～ ノビエ4葉期まで （収穫60日前まで）	1回	・藻が多発している圃場では拡散が不十分となり、部分的な薬害や効果不足の可能性があるので、使用を避ける。 ・効果を高めるため、6cm以上の深水状態で使用する。
バサグラン粒剤 ※	マツバイ、ホタルイ、 オモダカ、ウリカワ、 ミズガヤツリ　他	3～4kg	移植後15～50日 （収穫60日前まで）	1回	・ノビエに効果無し ・晴天の持続する時（2日以上）を選んで散布する。 ・落水またはごく浅く湛水して散布する。 ・散布後3～4日間は入水・落水しない。
クリンチャー 1キロ粒剤	ノビエ	1kg	移植後7日～ ノビエ4葉期まで （収穫30日前まで）	2回以内	・ノビエ専用剤で残効性がない。 ・効果を高めるため、5cm程度の湛水状態で散布する。
		1.5kg	移植後25日～ ノビエ5葉期まで （収穫30日前まで）		
クリンチャー ジャンボ		小包装 （50g）× 20個(1kg)	移植後7日～ ノビエ4葉期まで （収穫30日前まで）		・ノビエ専用剤で残効性がない。 ・効果を高めるため、6cm以上の深水状態で散布する。 ・藻が多発している圃場では拡散が不十分となり効果不足の可能性があるので、使用を避ける。
		小包装 （50g）× 30個(1.5kg)	移植後25日～ ノビエ5葉期まで （収穫30日前まで）		
トドメMF 1キロ粒剤		1kg	移植後14日～ ノビエ5葉期まで （収穫50日前まで）	3回以内	・ノビエ専用剤。 ・効果を高めるため、5cm程度の湛水状態で散布する。
ロイヤント乳剤 ※	一年生雑草および 多年生広葉雑草	200mℓ 希釈水量 100ℓ	移植後20日～ ノビエ5葉期まで （収穫45日前まで）	2回以内	・晴天日を選び、落水またはごく浅く湛水して散布する。 ・散布後7日間は入水・落水しない。 ・クサネムは約70cmまで早めに散布する。 ・ホタルイ、クログワイ、コウキヤガラに効果劣る。
トドメバスMF 液剤※	一年生雑草および 多年生広葉雑草	1,000mℓ 希釈水量 100ℓ	移植後15日～ ノビエ6葉期まで （収穫50日前まで）	2回以内	・晴天日を選び、落水またはごく浅く湛水して散布する。 ・散布後7日間は入水・落水しない。 ・展着剤は加用しない。

5 中間追肥

○6月下旬に、**ケイ酸質資材を施用**しましょう。
○施用後2～3日は水を溜めたままにしてください。
《効果》
・根の活力を高め下葉の枯れ上がりを防ぎます。
・茎を硬く、倒伏や病気に強い稲体にします。

肥料名	施用量
エスアイ加里らくだ	15kg/10a
けい酸加里	20kg/10a

≪次回の営農情報（てんたかく穂肥・カメムシ対策等）は**6月8日**頃の発行です。≫